

環境調査結果のお知らせ

平成25年1月11日午前9時から、浦ノ内湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温11～13℃、塩分33～34、溶存酸素濃度8mg/l前後でした。透明度は5～7mで、有害種のケラチウム・フルカが少数確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は10.85～13.30℃、塩分33.57～34.37でした。前回調査時(H24.12.14)と比較して、水温は3℃低下、塩分は同程度でした。

溶存酸素濃度(表3)

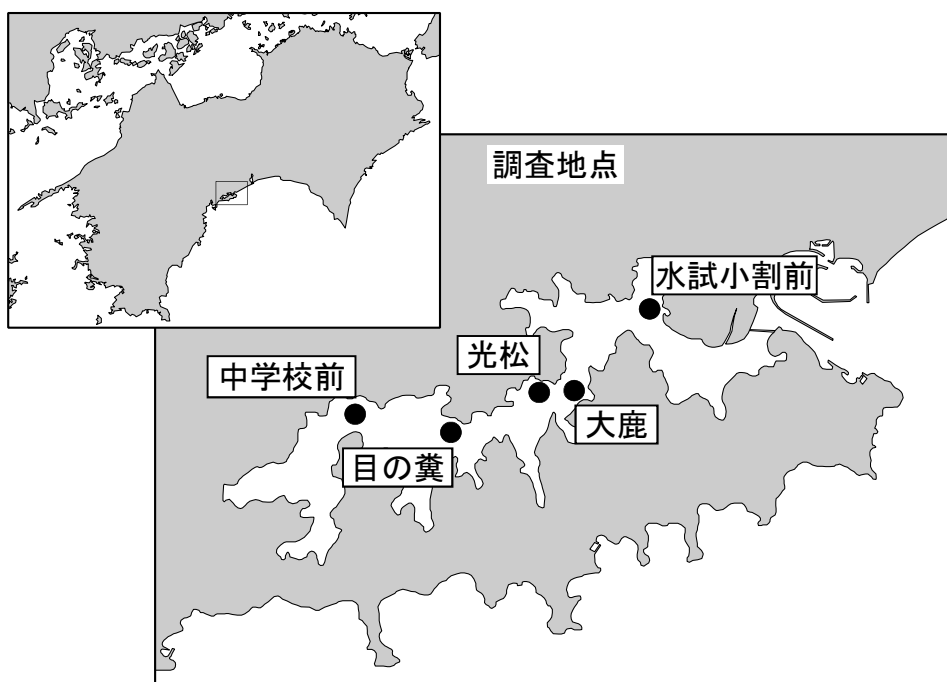
湾内の溶存酸素濃度は7.95～8.49mg/lで、前回と同程度でした。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.9～7.0mでした。

検鏡の結果、養殖魚の餌食いの悪化を引き起こす危険性のあるケラチウム・フルカが最高2cells/ml確認されました。その他に有害種は確認されませんでした。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H24.12.14)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.97	11.44	11.73	11.86	13.30	11.68	14.24	▲ 2.57
2m	10.98	11.42	11.81	11.97	12.99	11.73	14.28	▲ 2.55
5m	10.96	11.44	11.80	11.98	13.03	11.74	14.37	▲ 2.63
10m	10.85	11.49	11.86	12.02	-	11.79	14.53	▲ 2.74
B-1m	10.88	11.57	11.97	12.63	12.83	12.06	14.78	▲ 2.73

表2 塩分

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H24.12.14)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	33.60	33.73	33.85	33.87	34.37	33.82	33.64	0.18
2m	33.60	33.72	33.87	33.90	34.25	33.83	33.67	0.16
5m	33.59	33.73	33.86	33.91	34.32	33.83	33.70	0.13
10m	33.57	33.75	33.89	33.93	-	33.86	33.77	0.09
B-1m	33.58	33.77	33.92	34.10	34.21	33.93	33.86	0.07

表3 酸素濃度(mg/l)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H24.12.14)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.49	8.40	8.34	8.35	8.14	8.36	8.46	▲ 0.10
2m	8.35	8.31	8.26	8.24	8.03	8.27	8.36	▲ 0.09
5m	8.27	8.24	8.21	8.17	8.01	8.21	8.27	▲ 0.06
10m	8.19	8.17	8.14	8.10	-	8.14	8.12	0.01
B-1m	8.13	8.09	7.95	7.96	7.95	8.00	7.98	0.02

※ 目の糞・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目の糞	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.9	16.2	18.1	17.4	10.1
透明度	4.9	5.6	6.9	7.0	7.0
前回透明度	2.7	2.6	2.6	2.8	3.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		ケラチウム・フルカ	ヘテロカプサトリケトラ	ジャイロディニウム・スピラレ	ケイ藻類
中学校前	0m	0	0	2	5
	2m	0	1	1	16
	5m	0	1	0	47
目の糞	0m	0	0	0	23
	2m	0	2	0	4
	5m	0	0	1	14
光松	0m	0	1	0	0
	2m	0	1	0	0
	5m	2	4	1	13
大鹿	0m	0	2	0	28
	2m	0	1	1	2
	5m	0	0	2	0
水試小割前	0m	0	0	0	20
	2m	0	0	0	3
	5m	0	1	1	10

【漁業被害が想定される細胞密度】
・ケラチウム・フルカ(餌食いの悪化):
100cells/ml